

相模湾沿岸（小田和湾）で見られる生き物

2 小田和湾

自然環境の特徴

小田和湾には、本市にわずかとなった干潟が残されています。砂が底質の大部分を占めており、海中ではアマモやコアマモの群落がみられます。西浄化センター前は、広い草地と砂浜が広がります。人の立ち入りはあまりない場所です。佐島は船着き場など主に漁業施設となっています。

植物

コウボウシバやツルナ、ハマダイコンなどの砂浜の海岸植物が見られます。関東以南に分布し高さ2~4mになるダンチクが齊田浜に見られ、オカヒジキが群生している場所もあります。

ダンチク



トベラ



コウボウシバ



オカヒジキ



昆虫

砂浜の中で生活する海岸性の昆虫を見ることができます。砂浜の背後に草地があるため、草むらにくらす種も観察することができます。

ヒョウタンゴミムシ



ハマベハサミムシ



ハネカクシの一種



サトクダマキモドキ



水生生物

齊田浜は、三浦半島でもっともスナガニが見られるポイントの1つです。干潟部分では、ユビナガホンヤドカリ、コブヨコバサミなどのエビ・カニの仲間や、ホソウミニナ、アラムシロガイなどの貝類が見られます。

スナガニ



ユビナガホンヤドカリ



コブヨコバサミ



ホソウミナ



アラムシロガイ

